

第1グループ 事業番号③

事業シート (概要説明書)							
担当局名			予算事業名	農村環境整備費 (農道等補修工事)			
担当部名			総合計画上の位置付け	収益性の高い農業経営の確立	作成責任者		
担当課・係名	産業課 商工係				大浦 克司		
事業開始年度	平成9年度		根拠法令	なし			
1 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
	(1) 目的 (何のために)	農道や農業用水路等の中で、老朽化や災害 (小規模) 等により破損した箇所を補修工事を行い円滑な農業生産活動を維持する					
	(2) 対象 (誰・何を対象に)	町内の農道、農業用水路等の施設で小規模で緊急を要し国、県等の補助が見込めない工事を対象に実施する					
	(3) 事業内容 (手段、手法など)	地元区長等からの要望に基づき現地調査を行い、技術的、経費的に地元での対応が困難な箇所について補修工事を施工する。					
2 事業概要	(4) 事業の必要性	農道、用水路の機能障害は、農業生産活動に支障をきたすため必要。					
	3 コスト	平成22年度		人件費			
		(1) 事業費	3,000 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
		(2) 人件費	767 千円		担当正職員	767 千円	0.1 人
(3) 総計	3,767 千円	臨時職員他	千円		人		
4 事業費 (財源内訳・単位千円)	年度	総額	実施方法が補助金の場合、事業費の負担割合		財源内訳		
	H19(決算)	833			一般財源	3,000	
	H20(決算)	1,875					
	H21(決算見込)	2,064					
	H22(予算)	3,000					
5 平成22年度事業費内訳	22年度・・・農道補修工事・・・3箇所、水路障害物除去工事・・・1箇所 年度により事業箇所、事業費の増減はあるが近年は増加傾向にあるため平成21年度より当初予算を100万円から300万円に増額した。今後も予算の範囲内で対応したい。						

事業シート（概要説明書）						
担当局名		予算事業名	農村環境整備費（農道等補修工事）			
担当部名		総合計画上の位置付け	収益性の高い農業経営の確立			作成責任者
担当課・係名	産業課 商工係					大浦 克司
6 事業実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	補修工事実施箇所	箇所	5	3	4	
7 単位当りコスト (事業費/活動指標)	事業費/工事実施箇所		千円	375	688	255
8 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>特に整備計画等がなく、地元の要望に基づいて実施する事業のため、年度により箇所数及び工事費に変動があり、定量的な評価はしづらい面がある。</p> <p>平成20年度は補正予算での対応もしており、今後も地元の協力を得ながら緊急性のある要望にはできる限り対応できるよう努めたい。</p>					
9 成果実績 (成果指標の目標達成状況等)		単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	予算執行率	%	91	69	66	
10 事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>土地改良事業で実施した農道、用水路などの農業施設も10年以上が経過し近年老朽化による機能低下が進んでいる。又、農業従事者の減少、高齢化により農業施設の管理能力の低下も懸念されている。このような状況において、小規模な維持補修の予算確保と全体的な農業施設の改修計画の策定が必要と思われる。現在、小規模な維持補修については、国・県の財政支援が無いため町費が増大することが課題である。</p>					
11 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>他の自治体でも同様な状況であり、予算の範囲で対応している。</p>					
12 特記事項 (事業の沿革等)						